

# 小説 高越山

ぜひお読み  
ください

高木 純

同人誌「飛行船」に地元を舞台にした小説を書いております。  
そのうち四編を「ふるさとの小説」として一冊の本にまとめました。  
本のタイトルは『高越山』ぜひお読みください。

徳島ペンクラブ会長 飛行船代表 竹内菊世

全編に溢れる人間としての優しさ、思いやりは心を打つ。  
また、「伯母の託けもの」に代表される人情味豊かでユーモアがあり、世相をちらりと批判しながら読後感がいい作品も得意。小説「高越山」の発刊を機に、作家高木純が益々磨かれていくことを願っている。

## 川島潜水橋

吉野川の上流で降った大雨が激流になって潜水橋に襲いかかる。大雨のたびに激流に沈む潜水橋。しかし水が引けば橋は元のまま姿を現す。その潜水橋にかかわる人々を描いた群像劇にやきもきしつつ、最後はホッコリ。  
潜水橋を見る目が変わります！

## おせったい地蔵

川島町城山の土手の上にある「お遍路さん休憩所」での、お遍路さんと地元の人々との交流を描いた心暖まる作品。今や世界中の人々を魅了している四国巡礼の旅。心やさしい地元の人々のお接待にホンワカした気持ちになります。願う！ 世界遺産登録！

## 伯母の託けもの ～高開の石積みにて～

伯母に呼ばれて東京から高開にやってきた青年。そこには同じように伯母に呼ばれた美しい娘がいた。

石積み以外に何もないと思っていた高開、だが夜になって外に出てみると息をのむような光景が。そして「高開の石積み」で芽生えた恋の行方は……

## 高越山

手軽に「雪山」を楽しめる冬の高越山は人気の山。その高越山を舞台に繰り広げられる救出劇。読みすすむと自分も一緒に高越山に登っている気持ちになり、その後の急展開にハラハラドキドキ。山男二人の友情が爽やかな物語です。

ぜひお読みください 定価 1000円

川島駅前 山本書店 山川町ブックス大谷  
紀伊國屋書店(徳島そごう店) 平惣全店  
宮脇書店鴨島店

### 高木純 小説の歩み

2009年6月 処女作である短編小説「麦わら帽子の父」が同人誌「飛行船」文学賞優秀賞

12月「命の森」が、とくしま文学賞の佳作

この年より「同人誌飛行船」の同人として短編小説を次々と発表

2010年「群鳥の水田」が三田文学に取り上げられ全国に紹介される

2013年「高越山」銀華文学賞に入選